

Wataru&Hitomi

Letter No.12



Issued on Janualy 31, 2026

船越半島の大浦地区に向かう道中に見えるオランダ島です。

山田町中心地から車で15分以上離れた大浦地区。

どのお家も大きくてビックリしました。野生のキジも見ましたよ！

こういうわけで、あなたがたは、もはや他国人でも寄留者でもなく、聖徒たちと同じ国の民であり、神の家族なのです。

エペソ人への手紙 2章19節

ーきんきょう ほうこくー



11月中旬、坂西信悟宣教師が山田町に来てくれました。タイでの働きを分かち合っていただき、引き続き宣教の働きを、私たちも祈っていこうと思わされました。



懐かしい方も来られ、皆さんの気分が高揚！お茶っこが歌っこに！



一緒に海鮮を楽しみました！



11月終盤に山田牡蠣祭りがありました。礼拝後、地域の皆さんと一緒に参加！賑わっていました。



蒸し貝を山田の醤油で



12月28日は李先生・ドリスさん送別会でした。お2人は私たち家族や他の皆さんに、書ききれないほど沢山、良くしてくださいました。娘たちもとても懐いています。李先生はビザ等の関係で、関東で数か月間ご奉仕され、その後香港で過ごされるそうです。ご夫妻の体調が守られ、生活が祝されますようお祈りいたします。



沢山ありがとうございました！



香港チームと食事



米の入った雪だるま
地域の皆さん全員分準備してくださっていました



12月30日に高野先生のお家に招いていただき、御馳走になりました。お喋りやゲームなど、楽しいひと時を過ごしました。

— ふたりの ほうこく —



カフェすいかにて結婚4周年祝い

仕事が決まりました。山田町役場内にある地域包括支援センターで、産休代替職員として12月から働き始め約1年間務めます。お祈りに覚えてくださり、本当にありがとうございました。

2025年11月初旬、保健センターの子どもの遊び場で、保健師さんに「資格(社会福祉士と精神保健福祉士)を使って就職活動します」と話したところ、「ちょうど探していたかも」と言われ、その日の帰りに今の上司と面談、正式な面接も経て、あっという間に決まりました。子どもが小さい為、9-16時の勤務時間と子どもの看病休暇(10日間!)はとてもありがたいです。お昼は自宅に帰れる距離です。仕事内容は、地域の皆さんにかかわることで、私の好きな相談援助業務となります。神様の御業としか言いようがありません。ハレルヤ!! 仕事は大変な面もありますが、とても楽しいです。山田町の今まで行かなかった地域にも足を運ぶ機会が増えました。標準語で話しかけるとご高齢の方は聞き取りづらいことが分かったので、今年の目標は山田弁を自然に使えるようになることです。

瞳



11月初旬、渉の両親が山田町に来てくれました！

そしてその間に、瞳と次女は大阪へ。友だちの結婚式は大阪城のすぐ側でした。久しぶりに熊を恐れずに外を歩くことができて嬉しかったです。瞳の父方祖父が召天する2日前に、病院で面会できたことも、恵みでした。



生活発表会、「ちんぶんかんぶんぶん」。歌通り、衣装どおりの表情な2人！笑



宮古めぐみキリスト教会で作させていただいた、おかしの家。楽しいデザインのお家が沢山並びました。



いただいた鹿のスネ肉でシチューを作りました。とっても美味しかったです！



— おいのりください —

- ・高野望先生ご家族・劉美媛(ワインサム)先生のお働きと健康のために。特に現在奏楽ができるのは牧師夫人のみとなり、家事育児と英会話教室(2025.12月～)の準備の中受け持ってくださっています。
- ・受洗された3名(S姉妹、H兄弟、N姉妹)の信仰生活が祝されるように。
- ・新しい歩みを始められる李先生とドリスさんご夫妻のために。
- ・渉と瞳が、職場でキリスト者として仕える歩みができるように。

